

令和2年度第3回池田町まちづくり会議 報告書

日時等 令和2年9月8日(火)午後6時00分～8時30分、西部地域コミュニティセンター
出席者 まちづくり会議委員27人(34人中) 会議の開始時点：21名
町担当課長等9名、町事務局(企画財政課)5名

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告(説明)事項

会議開始時点の出席者は21名により、会議が成立していることを確認しました。

本日は、10年前、また今回の住民アンケート調査の集計、分析業務をお願いした株式会社日本コンサルタントグループ 地域経営研究所の山口所長、中村研究員をお迎えし、アンケート調査結果の解説と総合計画への住民意向の反映手法などに説明をお願いします。

(2) 住民アンケート調査の検証結果について(18:05～)

株式会社 日本コンサルタントグループ

地域経営研究所 地域計画研究室長 山口 和也 氏

地域経営研究所 北海道事務所 研究員 中村 桂 氏

昨年実施の住民アンケート調査結果検証結果について、資料に基づき説明を受けました。

説明内容(18:05～18:30)

池田町の「住みごこち」を問う回答として、「住み良い」、「どちらかと言えば住み良い」の回答が56.7%、「住みにくい」、「どちらかと言えばすみにくい」の回答が16.0%となった。

女性より男性が住み良い回答が多く、80歳代が「住み良い」と回答している人が多い。10年前、20年前と比較し、「住み良い」との回答は今回が最も高い結果となった。

約6割の人が「今の場所に住み続けたい」と回答し、一方18.3%が「町外に移りたい」と回答している。年齢が高くなるにつれ、「今の場所に住み続けたい」との回答が高い結果となった。

「町外に移りたい」とした人に、その理由を尋ねたところ、「買い物や飲食が不便」、「移動(交通)が不便」の2つの回答が高い結果となった。

愛着度は、50%が最も高く、50%以上との回答が多い結果となった。

現状の満足度に対する回答として、「ごみ収集・リサイクル」、「消防救急体制」の満足度が高い。一方「働く場の確保」や「商業振興」、「企業誘致や新しい事業への支援」について、満足度が低い。

今後の重要度に対する回答として、全体的に高い傾向にあるが、防災体制、医療環境、雇用環境、それらが最も高く、50%を超えている。

満足度と重要度の相関図について、「働く場の確保」、「商業の振興」について、重要度が高く満足度が低い顕著なものとなった。

「今後の池田町は、どのようなまちであってほしいですか」との問いに対し、買い物や医療などの生活環境の充実、保健福祉の充実が、50%を超えている。

どのような情報が欲しいかとの問いに対し、町民が利用できる制度の情報、災害関係情報が効率

となっている。

情報伝達手段について、広報紙が最も多いが、年齢が若い人は広報紙とそれ以外で半々、年齢が上がるにつれ広報紙から情報を得る割合が増える傾向となった。

まちづくりとの関りや参加への気持ちの問いに対し、「そう思う」の回答は「住民意向がまちづくりに反映されている」が最も高く、まちづくり活動への参加や関心は低い傾向となった。

中学生との比較では、「住み良い」との回答は中学生でより高い傾向となった。今後の暮らしの継続への問いでは、10歳代の回答と同様の傾向を示した。

愛着度も、中学生は高く、70歳代と同程度の結果となった。

質疑応答

質問) 他の市町村と比較し、池田町の特徴や傾向の違いは？

回答) 突出しているものはないが、定住意向の問いに対し、70～80歳代になると住み続けることが困難になり、それが回答に影響するが見える傾向にあるが、池田町ではそれが見えない。中学生の回答でも、住み良さを感じている回答が高い傾向にある。

質問) 中学生が住み良いと回答しているのは、中学校が新しいから、学校の環境が良い、それが影響しているのではないかと感じている。防災でも各家庭に防災無線が整備される予定となっているが、それが行われると防災に対する満足度も高まるのではないかと感じている。そのような影響はあるのだろうか。

回答) 近年、災害への意識の高まりは、顕著にみられる。特に北海道内は、この10年間で関心が高まっている。危機管理に対する意識が高まっている。中学生は、まちが好きだとか、前向きな回答が多かったと感じている。

4. 協議事項

(1) 地域づくりの方向性の検討(意見交換) (18:50～19:55)

(2) 総合計画 基本計画(案) 内容協議について

最初に、資料1により過去2回のまとめ、資料2により基本計画修正等の内容を全体で確認しました。

本日の部会協議は、部会ごとの分野にこだわらず全分野を対象とし、ご意見を出し合って頂きたいこと、本日から具体的な計画作成作業となっていることから、計画をどう修正すべきか、等々の方向性に絞って確認頂きたいこと、部会での協議結果は、最後の全体会議において確認すること、等を確認し、部会ごとに分かれ協議を行いました。

各部会報告(19:55～20:22)

保健福祉、教育部会《保健福祉を中心にしたグループ》報告(町事務局)

本日、部会長は決定できなかったため、事務局から報告します。

一つ目、農村部も含めた交通体系のあり方について、農村部のデマンド型交通の実証実験を行いました。利用者数、予約が必要、乗合方式など、それらによる対応は難しいとの意見もあり、今回の総合計画では、民間事業者のタクシー、介護タクシーなども含めた生活交通体系の中で整理し

ており、あとは行政としてどれだけ支援できるかという意見が大勢だったと思います。

また、子育て支援の担当係長も出席しており、子育てに係る事項も意見交換をしました。色々なところから公園の整備要望が出ているので、そこは必要なのかなという意見、後は、やはり現役の子育て世代の意見を重視して、というような内容になりました。

先ほどの農村部のデマンド型交通も含めた中で、高島地区、北部地区の活性化についても意見交換しました。交通体系もそうですし、高島診療所の利用者も徐々に少なくなってきている、そのような状況でどう活性化していくか、昔は、国道が高島市街交差点を通過していましたが、現在は、国道が高島市街地を通らず通過してしまうので、人を引き込むということがなかなかイメージができない。そのような中、利別や池田と差別化した活性化、例えば道の駅の整備、コンビニができれば買い物も便利になれば若い世代も住みやすい、そのようなアイデアも頂きました。

それら意見交換の中で、やはり雇用の場の確保が大事だと、それが皆さんの共通した意見でした。

農業分野では、エゾシカの被害がかなり大きく、電気柵や爆音機を設置しても、なかなか目に見えた効果が得られないというご意見も頂きました。

保健福祉、教育部会《教育文化スポーツを中心にしたグループ》報告（内藤部会長）

様々な現状と課題、施策の方針、内容についてご意見を頂きました。特徴的なところをお話します。小中学校については、施策の方針の中で池田町の特徴をきちんと位置付けたほうが良いと以前から話が出ていたので、今回、ふるさと教育・ふるさと学習の大切さ、そのようなアピールをきちんと紹介していったらどうか、実際、池田町としてふるさと教育を実践し大切にしているので、それらを文章的に表現したほうが良いのではないかと、方針な内容にそういう表現の検討をお願いしているところです。

教育環境の整備については、特にありません。

社会教育について、特に高齢者に関して、遊ゆう大学が充実している、満足度が非常に高い。若い方たちの活動、支援が課題になってくる。時間がなくなかなか参加しにくいと思うが、実際に社会教育には人、人材活用が大事で、それなりの文言は書かれているが、人材活用という表現を施策の内容に組み込んでどうかという意見が出されました。

青少年健全育成も、ふるさとの気持ち、将来の夢を抱き育む事業、そういうところは文章として表現されているので、学校教育の部分でもきちんとアピールしていこうということが話題となりました。

芸術文化・スポーツについては、今回、図書館に関する文言が（社会教育から）こちらのほうに組みこまれましたが、実際かなりの芸術文化活動、特に高齢者の面では充実している。ただ、スポーツ活動では、会員の高齢化だったり、会の運営が厳しかったりと、人口減による存続の危機ということもあります。施設のほうには、体育館の施設が充実し、図書館も活用をされているということで、特に問題のある意見はありませんでした。

産業振興部会 報告（土屋部会長）

産業振興部分に関しまして、概ね良いのではないかと結論になりましたが、何点か。

20頁の観光施策のDMOについて、現状と課題部分では「その推進体制を確立し、（中略）仕組みづくりに取り組む必要があります」としているが、施策の主な内容では「DMOを核とした観光振興体制の検討」とされている。「推進」と「検討」、どちらなのか、はっきりしないという指摘がありました。

また、施策の主な内容に「 i k e d i n i n g (イケダイニング) 浸透への取り組み」というのが唐突に出てきて、何のことが分からない、観光振興計画に記載されているキャッチフレーズということだったので、このことに対しての注釈をつけ、観光振興計画との連携等について記載したほうが良いのではないか、という意見が出ました。

生活基盤整備、移住交流部会 報告(森尾部会長)

防災について、防災訓練を実施しても参加者が少なく、自主防災組織も組織の普及率が上がっていないということですが、参加者からの意見で、それぞれの地域の浸水予想、それらがあれば非常に分かりやすいという意見がありました。

(池田町内を流れる十勝川、利別川、十弗川が氾濫した場合の浸水想定図(ハザードマップ)は、防災のしおりとして町内各戸へ配布しているほか、ホームページで公表しています。)

また、昨今のコロナウイルス対策等にありますが、避難所の収容能力が非常に落ちているので、現状では避難所は不足しているという状況のようです。利別川の河川掘削等を行っているようですが、樹林化しているところ、土砂が堆積しているところの浚渫工事も行っているとのことです。

防犯・交通安全において、防犯灯の設置、防犯カメラの設置等の計画はないのかということですが、費用対効果や犯罪発生との関連を考えたときに、現在のところ設置、増やしていくということはないようです。地域では、町内会で設置している、何かあった時必要とするのが警察なので、町が費用支出して設置するということにはならないとのことです。

情報通信基盤については、テレビジョン放送の再送信による難視聴世帯の解消、これらのシステムを維持することが大切であり、現状は出来ているとのことです。新型コロナウイルス感染症によって学校の子どもの教育がだいぶ変化し、パソコンによる遠隔授業、ICT利活用に向けた教育活動および人材育成の推進、これら教育活動は自宅学習の為の教育環境になります。現在のところ、人材育成というのは、指導する先生たち、ITに非常に詳しい先生たちがいれば、大きく進捗する要素があるが、そうでないところは、外部から人を招き、教育活動を行っていかねばならないというのは、急を要するのではないかという意見がありました。

河川の問題、池田町が管理する河川は100以上あるらしいが、なかなか治水対策に手が回らないのが現状とのことです。

道路と生活交通、町が持っている車両の適正な運行と維持管理の推進ということで、除雪体制もありますが、(バスを)運行しているのは町営がメインですね。75才にならないと免許返納しても使えないという問題も指摘されている。本来は、使えないのではなく、有料になってしまうということですが。

交通に関して、池田駅の東西を結ぶ連絡通路の問題が棚上げになっているが、現状ではできないのかという意見に対して、相当な予算を取らないと現状では出来ない、ずいぶん昔は5億円ちょっとで出来るということになっていたが、現在試算するとおそらく倍くらいになるのではないか、町の現状の予算では、非常に厳しいということでした。

まだまだ意見はありましたが、本日の協議はこの項目で終わりとし、この続きは別途部会を開催し、次回報告したいと思います。

全体確認

委員)住宅施策について、大通りや西1条、西2条などの商業地域に住宅を建設することについて。

まちなかに公営住宅を整備していたが、公営住宅は充足し、今後5年程度は新たな整備を行わないこととされているが、それらの方針について、また、個人住宅の建設への支援について、どうなっているのか。

町民課長) 民間住宅の建設費補助について実施している。今年も旭町に5棟8戸建設予定である。

まちなかへの民間住宅の建設要望があれば、それも対応できる。

委員) 商業地域、商店の跡地でも整備できるのか。主に大通りについて。

企画財政課主幹) 都市計画上の用途指定は商業地域としているが、住宅は建設できる。ただ、準防火地域となるため、普通の住宅より割高にはなる等の制限はある。

委員) 移住希望者向け体験住宅の利用状況等、どのようになっているのか。

企画財政課長) 町内に2戸あり、農村部の千代田と利別の旧教員住宅を使用している。長期用が千代田、短期用が利別としている。新型コロナウイルス感染症の関係で、短期用は募集を休止しているが、長期用は現在利用されている。利用問合せは多くある状況にある。

(3) 今後の会議の進め方について

資料3および資料4により、総合計画の策定に係るまちづくり会議の今後の進め方について、全体で確認しました。

今後、9月下旬に町議会の調査を受けた後、次回、第4回まちづくり会議を9月下旬または10月上旬に開催し、総合計画の全体確認をお願いする予定。その後、11月上旬にも第5回まちづくり会議を開催し、総合計画の素案として、確認・確定させる予定とします。

11月中旬から1か月間程度、パブリックコメントとして意見募集し、年末から年明けにかけて計画の最終確認、諮問・答申をすすめ、1月にも町議会へ提案する予定とします。

なお、意見はお電話、電子メール、ファックス、お手紙、何でも結構ですので、随時お寄せ下さい。

5. その他

(特に無し)

6. 次回の開催予定

次回会議は、4(3)で確認のとおり、9月下旬または10月上旬の開催予定とする旨、全体で確認しました。

7. 閉会(20:30)

(令和2年9月8日令和2年第3回池田町まちづくり会議)
専門部会協議結果報告：保健福祉、教育部会【保健福祉】

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

中村委員、米倉委員、小山委員、鈴木委員

2) 出席状況：町職員等

鈴木福祉課長、高畠保健子育て課主幹、三宅子育て支援係長、佐々木企画統計係長

3) 協議の内容

部会を2つに分け、今回は、前々回および前回の「現状と課題」の整理に加え、施策の主な内容部分も含めた基本計画（案）について、全分野を対象に協議した。

協議内容とし、全体会議報告がされたもののほか、次のとおり。

職員) 子育てに関するアンケート調査では、6割以上が子育てしやすいと回答している。ただ、満足度は高くなく、公園や屋内で遊べる施設が劣っているとの声が多い。

委員) 本別公園に行く機会があるが、とても施設が充実していて、環境が良い。

委員) 農村部でも、お互いの家を行ったり来たりする関係の中、子育てはしやすい環境だったと思っている。

委員) 若い人が集まる場所があれば良いと思う。

職員) 豊頃町では、商業施設を町が取得、改装し、サテライトオフィスとしたり、コンビニも整備されたと聞く。

委員) 昔のお焼き、タイ焼き屋さんや駄菓子屋さんがあったように、若い人が集まる場所が無くなって寂しく感じている。

司会) 商業振興、重要度が高く満足度が低い。ただ、融資制度の充実や起業支援補助等が中心であり、なかなか対策が見いだせていない。

職員) 雇用がないことも同様であった。やはり雇用の場の確保が重要となる。

委員・職員) 物が良ければ遠くにも来てくれる時代になっている。近隣のまちでも、不便な土地にあるお菓子屋さんやパン屋さんに、遠くから多くの人が通ってくる。可能性はある。

(令和2年9月8日令和2年第3回池田町まちづくり会議)
専門部会協議結果報告：保健福祉、教育部会【教育】

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

豊田委員、阿部委員、堤委員、内藤委員、尾西委員、梅村委員

2) 出席状況：町職員等

永田教育課長、天野企画財政課長

3) 協議の内容

部会を2つに分け、今回は、前々回および前回の「現状と課題」の整理に加え、施策の主な内容部分も含めた基本計画（案）について、全分野を対象に協議した。

協議内容は、その要旨が全体会議報告がされたものとし、記載を省略する。

(令和2年9月8日令和2年第3回池田町まちづくり会議)
専門部会協議結果報告：産業振興部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

十河委員、穂田委員、河原委員、遊佐委員、土屋委員、土田委員、阿部委員

2) 出席状況：町職員等

大堀産業振興課長、安井ブドウ・ブドウ酒研究所長、長谷川企画財政課主幹

3) 協議の内容

今回は、前々回および前回の「現状と課題」の整理に加え、施策の主な内容部分も含めた基本計画（案）について、全分野を対象に協議した。

協議内容は、その要旨が全体会議報告がされたものとし、記載を省略する。

(令和2年9月8日令和2年第3回池田町まちづくり会議)
専門部会協議結果報告：生活基盤整備、移住交流部会

1) 出席状況：部会員（池田町まちづくり会議委員）

片岡委員、村瀬委員、平井委員、太田委員、郷司委員、角谷委員、野上委員、神内委員、森尾委員、小林委員

2) 出席状況：町職員等

餌取総務課長、酒井町民課長、畠中建設水道課長、齋藤企画統計係主査

3) 協議の内容

今回は、前々回および前回の「現状と課題」の整理に加え、施策の主な内容部分も含めた基本計画（案）について、全分野を対象に協議した。

協議内容は、その要旨が全体会議報告がされたものとし、記載を省略する。

なお、本日の会議で協議できなかった部分を後日改めて部会開催することとされたため、その内容は別途報告する。